

第2回（11月） 会議録（主な意見等）

◎報告Ⅱ「はしたてフェスタ」の様子について

内容：橋立公民館の吉野館長は、県が作成した「いしかわ地域づくりシート」を使ってフェスタを企画し、前回会議で社会教育委員から頂いた意見も活かしながら10月29日に「はしたてフェスタ」を開催。当日は、どのようなフェスタとなったか、具体的な取組内容と吉野館長が感じたウェルビーイングにつながる成果について報告していただいた。

Q：フェスタを通じて、地域の担い手を育成する取組が行われたか。
新しい取組を通じて地域を盛り上げようとする人材の育成・発掘はできたか。

A：過去の取組は、各団体に任せて、うどんとラーメン、おにぎりを提供するということを繰り返してきた。今回はコデルシートを使って、フェスタでどんなことがあったら楽しいか考え、出された案が模擬店やフリーマーケット、占いコーナーなどにつながった。会議に参加者が中心となって各店舗やコーナー等が運営された。前例踏襲は楽だが、新しいことに取組み、いろんな人が輝くフェスタにすることができた。

○ 模擬店等すごくいいアイデアが住民の皆さんから出て良かった。地元の食材を使用したいろいろな伝統料理や美味しい魚を活かした出店があり、地産地消が推進できた、大盛況なフェスタとなったことが本当に何より良かった。

私が住む地域も、北前船の関係もあり昆布をよく使います。しかし、住民の高齢化が進み、料理を作るのに手間がかかるということで、私達婦人会の方で、文化祭の折に押し寿司を作ると、本当に大盛況で、すぐ完売になります。地域住民の力はすごいなと思っている。

◎報告Ⅲ「みかわ未来プロジェクト ～空き家活用～」の取組に関するご意見

内容：社会教育委員の取組として、清水委員と美川まちづくり協議会の二口事務局長から、地域課題の一つである「空き家問題」に対する取組の経緯を報告。美川まちづくり協議会としての取組に加え、美川小学校の清水校長からは、6年生児童が地域住民の一人として、空き家活用にどのような提言を行ったか学校側の取組を報告。

Q：私は地域学校協働コーディネーターとして活動している。今日の取組では、地域から一方通行ではなく、6年生の子供たちも参加していて、とてもいい取組だと思った。しかし、高学年になると学力のことも心配になる。どのくらい地域の活動に取り組み時間があるのか、今後の参考にしたい。

A：地域からの突然の依頼であった場合は学校も困るが、教育課程の総合的学習の時間に組み込んであるので問題ない。逆に学校から地域にも、こんな活動をするのだけど、こんなことをお願いできないかということで、この空き家問題も含めていろんな協力をいただいている。

○ 珠洲市で行われた PTA 主催の講演で、子供たちに珠洲市の何が好きか、珠洲市に何があったらいいか等を問いかけ、さらに「実現するためにはどうしたらいいか」子供たちに考えさせる事例があった。みかわ未来プロジェクトの取組がとても似ていてびっくりした。このプロジェクトでは、子供たちに地域の課題について考えさせ、アイデアを出し合い、未来の地域の担い手、作り手を育てていく素晴らしい取組だと思う。

実は私も町屋を活用して事業を行っているが、町屋は修繕にお金がかかり、場合によっては新築よりもお金がかかったりする。さらに初期投資のお金はなんとか捻出できても、維持管理にもお金がかかる。また、設立当初のメンバーがずっと携わっていただけるわけではないので、子供たちが大きくなるまで持続するためのコストについても、収入として担保できるようにしないとイケない。